

## みんなでミニトマトを収穫体験

9月3日(火)、水元中央小学校(野呂良悦校長)の2年生の児童10人が、同校近くの中野光彦さんの園地でミニトマトの収穫体験を行いました。収穫したトマトは、切り口がハート型のような形で肉厚の「トマトベリー」、果物のような甘さの「フルーツトマト」、甘酸っぱい味の「イエローミニ」の3種類で、児童たちは小雨の中、カッパを着ながらミニトマトを収穫し、とれたての味わいを楽しんでいました。

中野さんは長年にわたり、同校児童のために園地を提供しており、子どもたちに収穫体験を通して食べ物大切さを教えています。収穫後には、参加した児童たちが「トマトはどうやったら病気にならないか」や「トマトを育てて、一番大事なことは何ですか」といったたくさんの質問をしていました。



△みんなでたくさんのミニトマトを収穫しました



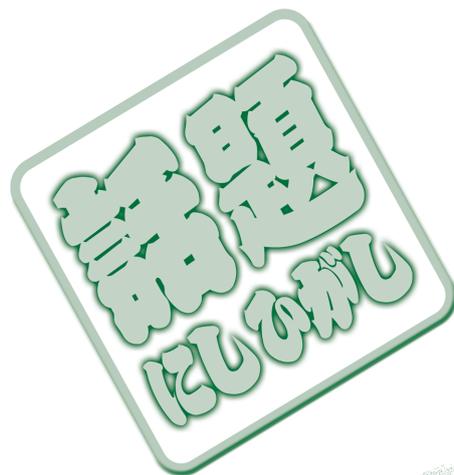
9/16 相原町で自主防災訓練が行われる



9/21 鶴田町ライオンズクラブが土手の清掃を行う



9/15 地元から多くの友人が、戸さんの応援のため来場



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(22-2111 内線264)

## 岩木山神社に大しめ縄を奉納

岩木山神社では毎年、五穀豊穡や家内安全を岩木山に祈願する「お山参詣」が行われています。初日の9月4日(水)、鶴田山道地区の町内会の方々が、7月から製作していた大しめ縄を神社の拝殿に奉納しました。

同地区では大しめ縄を3年に一度、古くなったものと交換することが恒例の行事とされています。しめ縄奉納の年を迎えたこの日、お山参詣には町内会の方々のほか、胡桃館小学校の児童も登山囃子として参加し、神社を目指して歩きました。

囃子に合わせ「サイギサイギ」と祭文を唱えながら運ばれた全長23メートル、太さ60センチ、重さ80キロの新しい立派な大しめ縄は無事に神社の拝殿に取り付けられました。



△足場を組み、立派な大しめ縄を拝殿に取り付けました

## 健康と笑顔が末永く続きますように

9月17日（火）、「第47回鶴田町敬老会」が鶴遊館で開かれ、町内のお年寄りや来賓など299人が出席して長寿を祝いました。

初めに中野町長から「これからますます長寿を重ねて、皆さんの健康と笑顔が末永く続きますように」とお祝いの言葉が述べられました。

その後、最高年齢長寿者の木村隆藏さん（胡桃館・103歳）、最高年齢長寿者夫婦の原市太郎さん（98歳）・きやさん（92歳）（派立）、80歳長寿者178人の方々にそれぞれ顕彰状が、また、100歳に到達した岡キヨさん（田の尻）に内閣総理大臣お祝い状が伝達されました。

閉会後は踊りや太鼓などのアトラクションで出席した皆さんは楽しいひとときを過ごしていました。



△長寿を記念して出席者の皆さんに顕彰状が伝達されました



△ポラロイド写真に願いを込めてメッセージを書く参加者の皆さん

## 秋夜に輝くキャンドルナイト

9月7日（土）、鶴田町富士見湖パークで「星空のキャンドルナイト in TSURUTA」が「つるた街プロジェクト」（岡詩子代表）主催で行われました。

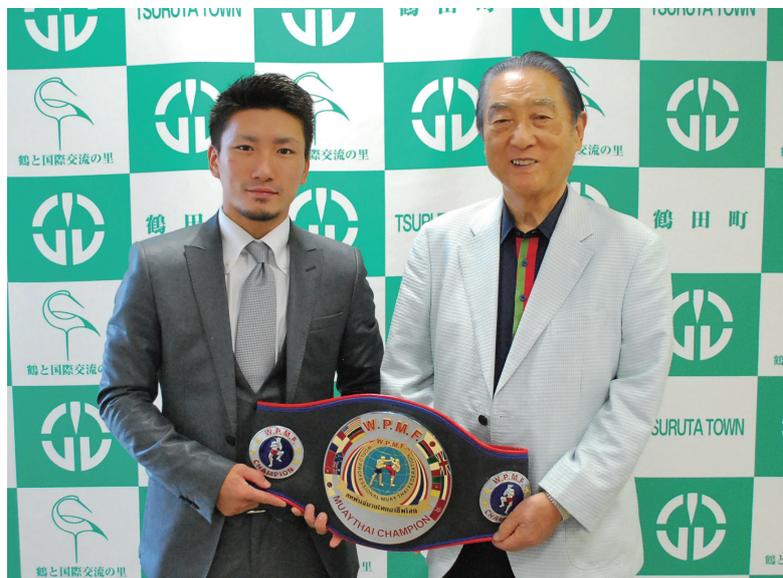
当日は、子供連れの家族やカップルなど多くの方が訪れました。会場のパーク駐車場から鶴の舞橋にかけてはイベントに向けて作られたキャンドルが並べられ、参加者の皆さんが自ら火を点灯。少し早い秋の夜の景色に輝くキャンドルの炎が会場を幻想的な空間へと変貌させていました。

そのほかにも、キャンドルの炎を照明にギターの生演奏や歌のライブ、写真の記念撮影会が行われ、撮影した写真に願いを書いて飾る催しなどもあり、訪れた皆さんは普段味わうことができないスロースペースに終始酔いしれていました。

## 世界王者がタイトル獲得報告

9月22日（日）、WPMF世界スーパーバンタム級タイトルマッチで勝利し、世界チャンピオンとなった一戸総太さん（山道）がタイトル獲得の報告のため中野町長を訪れました。

一戸さんは「応援してくれたみんなのおかげで、強い気持ちのまま戦え、勝つことができた」と喜びを語るとともに、「やっと世界のスタートラインに立つことができた。世界の強豪と戦って、真のチャンピオンになれるように頑張っていきたい」と次の目標への意欲を見せていました。次の目標は「ムエタイの最高峰『ルンピニースタジアム』認定のタイトルを獲得すること」と話す一戸さんに、中野町長からは「次の目標に向かって練習を重ねてますます頑張ってください」と熱いエールが贈られました。



△今回獲得したベルトをもつ一戸さんと中野町長